

# 地材地消モデル地区設定の取り組みについて

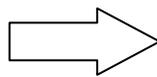
空知森づくりセンター 普及課 加藤達夫

## 空知管内の現状と課題

- 一般民有林のカラマツ資源の高齢化（51年生以上が31%を占める）
- 森林所有者の林業経営意欲の減退
- 地域材が有効に利用されていない

地域材の利用促進に向けた「シンポジウム」開催

シンポジウムからの提言



川上から川下の関係者が連携強化を図り  
地域材の情報を共有する場が必要

芦別市を「地材地消」モデル地区に設定

## 芦別市をモデル地区とした取組内容

### 【住宅分野への普及に向けた取組】

- 地材地消推進検討委員会を設置（平成20年度）
- <活動内容>
  - ・情報及び技術の意見交換
  - ・地材地消に向けた検討
  - ・現地視察等による現状の把握
  - ・一般住民への普及・PR

### 【地域材の利用促進】

- ネライ
- ・工務店や市民等を対象に普及施設として活用
- ・市営住宅建築を通じた「地材地消」意識の醸成
- ・林業経営意欲の喚起
- ・森林資源の循環利用

## 芦別市の市営住宅における取組

### ◆市営住宅の建設実績（平成20年度）

- ・1棟7戸
- ・住宅構造 木造平屋建
- ・延床面積 約500m<sup>2</sup>
- ・木材使用量 カラマツ無垢材 約120m<sup>3</sup>
- ・使用箇所 構造材（梁・柱・垂木等）  
外壁（羽目板等）
- ・生産場所 芦別市有林

### ◆市営住宅の建設計画（平成21～26年度）

- ・全体計画 6棟（63戸）



市営住宅視察



市有林のカラマツを使用した市営住宅

## 今後の展開方向

## 「地材地消」の目指す姿

### Step1 地材地消モデル地区での展開（平成20～24年度）

- ・住宅部材として利用できる森林の把握と登録
- ・地域材の情報を共有するシステムを整備
- ・広報誌・パンフレットを活用した普及・PR
- ・シンポジウムの開催による工務店等への普及啓発

### Step2 近隣市町へのモデル地区の取組を波及・展開（平成23～27年度）

空知管内の「木材情報ネットワーク化」による地材地消の定着